

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●チャンピオンズカップは牝馬サンビスタが優勝

12月6日(日)の4回中京2日・第11レースとしておこなわれたチャンピオンズカップ(G I)ではサンビスタ(牝6歳/栗東・角居勝彦厩舎)が優勝しました。牝馬によるJRAダートGI制覇は史上初の快挙となります。

### ●川田将雅騎手が900勝、小牧太騎手が800勝を達成

12月5日(土)の4回中京1日・第2レースではワイルドダラーが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、史上38人目、現役では16人目となるJRA通算900勝(7474戦目)を達成しました。翌6日(日)の5回阪神2日・第7レースではサンマルアリュールが1着となり、同馬に騎乗した小牧太騎手(栗東・フリー)は、史上44人目、現役では19人目となるJRA通算800勝(9401戦目)を達成しました。

### ●堀宣行調教師が400勝、川村禎彦調教師が300勝を達成

12月5日(土)の5回中山1日・第12レースではキャンベルジュニアが1着となり、同馬を管理する堀宣行調教師(美浦)は、現役45人目となるJRA通算400勝(2763戦目)を達成しました。翌6日(日)の4回中京2日・第1レースではタガノグロリオーサが1着となり、同馬を管理する川村禎彦調教師(栗東)は、現役70人目となるJRA通算300勝(4872戦目)を達成しました。

### ●コバノリチャードらの競走馬登録抹消

2015年東京新聞杯(G III)勝ち馬ヴァンセンヌ(牡6歳/栗東・松永幹夫厩舎/JRA通算16戦6勝)は12月3日(木)付で、2014年高松宮記念(G I)などの勝ち馬コバノリチャード(牡5歳/栗東・宮徹厩舎/JRA通算21戦6勝・地方1戦0勝)と2014年函館スプリントS(G III)などを勝ったガルボ(牡8歳/美浦・清水英克厩舎/JRA通算42戦5勝)は12月4日(金)付で、2013年フラワーC(G III)勝ち馬サクラブレジール(牝5歳/美浦・尾関知人厩舎/JRA通算13戦2勝)は12月9日(水)付で競走馬登録を抹消されました。ヴァンセンヌとコバノリチャードは北海道新ひだか町のレックススタッドで種牡馬、ガルボは北海道浦河町のシュウジデイファームで乗馬、サクラブレジールは北海道新ひだか町の新和牧場で繁殖馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●クイーン賞(船橋)でディアマイダーリンが重賞初制覇

クイーン賞(Jpn III、12月9日、船橋、1800m)は、2番手から残り100mを切った辺りで先頭に立った4番人気のディアマイダーリン(横山典弘騎手、牝3歳、父ハーツクライ)が、内から迫る単勝1.7倍で断然人気の昨年の覇者トロワボヌールをクビ差退けました。3番人気のパワースポットは4着、2番人気のフォローハートは5着に敗れています。

### ●金沢2歳王者はヤマノカミ【各地の主要2歳重賞】

金沢ヤングチャンピオン(11月29日、金沢、1700m)は、4~5番手から直線入口で先頭に立った1番人気の北海道からの転入馬ヤマノカミ(牡、父アツミラーレ)が4馬身差で楽勝。プロッサムC(11月12日、門別、1600m、牝馬)は、中団から差を詰めた2番人気のラッキーバトル(父バトルプラン)が、逃げた単勝1.2倍で圧倒的人気のリンダリンドを4コーナー手前で捉えてレコード勝ち。プリンセスC(11月30日、水沢、1400m、牝馬)は、中団から追上げた4番人気の岩手のサブライズハッピー(父ゴールドアリュール)がゴール寸前で差し切り勝ちを収めています。

### ●サウンドスカイらが出走、12月16日の全日本2歳優駿(川崎)

全日本2歳優駿(Jpn I、川崎、1600m)は、サウンドスカイが中心も、オーマイガイ、レガーロ、コウエイテンマ、エネスクもさほど差はなく、地方のスティールキング(北海道)、トロヴァエオ(大井)、ポッドガイ(川崎)も不気味です。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ●香港国際騎手チャンピオンシップ~南アのG.レレーナが優勝

第18回香港国際騎手チャンピオンシップは12月9日、あいにくの雨の中、ハッピーヴァレー競馬場の第4・5・7・8の4レースで争われ、南アのG.レレーナが優勝しました。第7、8レースと連勝し、24ポイント(ポイントは1着12、2着6、3着4)で優勝賞金50万香港ドル(約780万円)を獲得。2位は1着同着と2着1回で15ポイントのR.ムーア(英)。日本の戸崎圭太騎手はまず4番人気馬で3着のあと、単勝9番人気のトゥルーコメントで第5レースを1着同着とし、13ポイントで第3位。続く2レースはいずれも最低人気の馬で9着、5着でした。出場12騎手のうち他にポイントをあげたのは第4レース1着のS.デソウサ(英)、第5、8レース各3着のD.リョン(香港)、第7レース2着のM.ギュイヨン(仏)、第8レース2着のJ.モレイラ(香港)、第7レース3着のD.ホワイト(香港)。今年のアメリカ三冠騎手V.エスピノーザも出場しましたが、11着、12着各2回。残る3名はJ.マクドナルド(NZ)、H.ボウマン(豪)、B.プレブル(香港)。